

リチウムイオン電池用 セパレータの基礎と技術展望

1名分料金で
2人目無料

～ 高安全・高信頼を支えるポリオレフィン微多孔膜及びコーティングセパレータ ～

◆日時：【LIVE受講】2025年7月25日（金） 10:30～16:30
【アーカイブ受講】2025年7月29日（火）～8月5日（火）

◆形式：ZoomによるWEB配信

◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**44,000円（税込）**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で55,000円（税込））**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

★HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250787>

◆講師：温故・拓新バッテリーマテリアルズ(株) 代表取締役社長 山田 一博 氏

※元 東レバッテリーセパレータフィルム(株) 技監／製品開発・技術サービス部長、元 東燃化学(株) 製品開発・テクニカルサービス部長

【受講対象】

- ・LIBメーカ、その材料メーカ、それらの原料や製造装置メーカの方
- ・LIBを搭載するEV、スマートフォン、ノートパソコン等のメーカの研究・技術開発・市場調査に携わる方（初心者から中級者まで）

【習得できる知識】

- ・Liイオン電池(LIB)用セパレータの製品、プロセス、物性試験法に関する基礎知識
- ・LIB用セパレータの開発経緯・歴史(微多孔膜が選定された理由等)
- ・セパレータの物性と、LIBの性能や安全性との関係
- ・LIB用セパレータの標準化・規格化の動向とその背景
- ・現在の開発課題・動向と今後の開発展望
- ・最近のトピックス(主に中国や新規市場)

【講座の趣旨】

Liイオン電池(LIB)は1991年世界で初めて商業化され、そのセパレータとしてPE湿式微多孔膜(東燃化学)が採用された。現在でもPEやPPの微多孔膜やそれを基材としたコーティングセパレータが主流である。セパレータはLIBの高安全・高信頼を支える材料の一つであり、セパレータ物性とLIB安全性の関係は複雑で、それを達成する原料、プロセス、物性に対して、開発経緯を含め基礎から、現状、課題及び今後の展望を説明する。

【プログラム】

1. はじめに(最近の市場動向、電池用セパレータの役割)
2. 電池用セパレータ向け高分子多孔質材料の種類
3. ポリオレフィン湿式・二軸延伸微多孔膜が採用された理由
4. LIB用セパレータの物性・品位
5. ポリオレフィン微多孔膜の種類・製法(多孔化)・原料・各工程
6. コーティングセパレータの種類・製法(多孔化)・原料・各工程
7. LIB用セパレータの物性と、LIBの性能や安全性との関係
8. LIB用セパレータの標準化・規格化の動向とその背景
9. LIB用セパレータの開発課題・動向
10. LIB用セパレータの開発展望(今後)
11. 最近のトピックス(中国市場、新規市場)

≪質疑応答≫

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

『LIBセパレータ』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒☐LIVE ☐アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール

☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左記の欄に必要事項をご明記の上、FAXでご送付ください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、受講券・請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>